

# イラストで見る 学校で役立つ上手な聴き方 50のポイント

休み時間や放課後も  
教室で時間を過ごし  
教師から声を掛ける



聞いたことの  
記録を残す



児童生徒の強み・良さを  
見つけて  
具体的な言葉で認める



腕や足を  
組まない



児童生徒が  
沈黙して考えている時は  
口をはさまない



スケージング・クエスチョン  
「1~10だといくつ?」



紙に書き出して  
児童生徒と一緒に眺める



アドバイスを求められたら  
精一杯の対応をする



心配していることを  
伝える



話してくれたことに  
感謝を伝える



話を奪わない  
(自分の話をしない)



成功の責任追及をする  
「どうして上手くいったの?」



話に合わせて様々な  
あいづちを打つ



児童生徒の  
表情やしぐさを  
観察する



児童生徒が話しやすい  
距離に立つ・座る



どうなりたいか  
本人の希望を聴く



悩みに対して何ができそうか  
本人の考えを聴く



分かったふりを  
しない



作業をしながら聞かない



「つらいね」「悔しいね」  
と感情を伝え返す



例外(悪くなかった時)に  
ついて質問する、聴く



立ったり、座ったりして  
目線を合わせる



児童生徒の成長を  
信じる



良き理解者になろうとする



## 内容

どのような努力を  
してきたか聴き  
労い、認める



好きなことは「きっかけ」  
「魅力」「夢」を聴く



アドバイスは  
許可を得てから行う



本人が決めることを  
尊重する



時間に余裕がない時は  
終わりを決め  
別の機会を提案する



## 禁止事項

最後まで聴く  
途中で言葉をはさまない



求められていない  
アドバイスはしない



正論を言わない



「でも」「だけど」と  
否定しない



## 技法

児童生徒が言った  
大切な言葉は繰り返す



聴いた内容を  
コンパクトに要約して  
伝え返す



分かったことを伝えて、  
教師(自分)が理解できて  
いるか確認する



悩みを軽く扱わない



## 非言語

笑ったり、悲しんだり  
話に合った表情で聴く



タイミング良く  
うなづく



表情や声のトーンを  
合わせる・真似る



オープン・クエスチョン  
で質問する



どうして?  
なぜ?と  
問い詰めない



## 在り方

決めつけず  
1人1人を知ろうとする



教えてもらう  
気持ちで聴く



やわらかい視線で  
顔・目を見る



ネガティブな内容を  
ポジティブに  
リフレームする

